

奇跡 シリーズ 第四：規定 (当時と今)

一次テキスト: ルカによる福音書 5:1-11, ルカによる福音書 12:22-34

アレックス・レスラー

2023年・7月・16日

始まり- 神、私たちの提供者

私たちはイエスの奇跡について話しています。

ヨハネの福音書では、これらの奇跡はイエスの力の無作為や無計画な誇示ではなく、イエスがどのような方であり、神が世界でどのように働いておられるかを示す道しるべであることを思い出させられます。

この奇跡にはさらに深いメッセージが込められています。

そして私たちはそれを毎週毎週採掘しています。

私たちは、これらの奇跡は(物語の中で)「あのとき」起こっただけでなく、私たちの生活の中で「今」も起こったと信じています。今週は「備え」の奇跡についてお話します。

神は私たちの提供者です。

[善なる神のヘブライ語の世界観を発展させ、神は備えに満ちた世界を創造し、あらゆる者と万物の繁栄のためにその賜物を管理するよう人類に命じます。罪は大きな破壊者です。神は偉大な救い主です。]

移行期: 神の備えを信頼することの課題と、イエスの偉大な招き。

MVMT 1: 奇跡の釣果 (ルカによる福音書 5:1-11)

40 日間または奇跡 - 何人 (7800) - これはページから私に飛び込んできた奇跡の物語の 1 つです。

“さて、群衆が神の言を聞こうとして押し寄せてきたとき、イエスはゲネサレ湖畔に立っておられたが、そこに二そうの小舟が寄せてあるのをごらんになった。漁師たちは、舟からおりて網を洗っていた。その一そうはシモンの舟であったが、イエスはそれに乗り込み、シモンに頼んで岸から少しこぎ出させ、そしてすわって、舟の中から群衆にお教えになった。”

ルカによる福音書 5:1-3 口語訳

ここはガリラヤ湖(ゲネサレ湖の別名)の沖合にある「種をまく人の入り江」です。



このような入り江は、天然の円形劇場として機能します。音響技術者たちはこの場所で何十年にもわたって実験を行ってきましたが、全員が発見したのは、300フィート以上離れた場所からでも誰かの声が増幅されて聞こえるということです。写真では岬の反対側に道路が見えますが、入り江のボートに乗って大声で、しかし普通の声で話していると、その道路の反対側からもはっきりと聞こえます。

ここに何人いたのかわかりません。私たちは、イエスがこの時点ですでに公の宣教を始めていたことを知っています。彼はこの地域では有名な教師であり、彼の教えに従っていくつかの奇跡が起こりました。

この群衆は数百人、あるいは数千人になる可能性があります。このような環境では 5,000 ~ 7,000 人を収容できます。

規模が何であれ、群衆がイエスにとって教えるのを困難にしていました。そこでイエスは、すでに知っている何人かの人々(シモン、アンデレ、ヤコブとヨハネ)に会い、彼らの舟を借りて教えを終えました。

シモン(後にペテロとして知られる)とイエスとの交流は見られません。ペテロはイエスが彼に命じられたことを実行します。

これらの物語に自分自身を置くことが重要です。想像力を働かせて、詳細について少し考えてみましょう。朝になり、漁師たちは網を掃除しています。これは、その日の仕事が終わりに、帰宅の準備をしていることを意味します。また、この時点まで、漁師たちがイエスの教えに十分に参加していなかったことにも注目してください。まるで勤務シフトを終えて車に乗り込むと、車は何千人もの人たちに囲まれているような気分です。もう帰ってもいいですか？

しかしイエスは彼らに、しばらく留まるように言いました。シモン・ペテロはボートに捕らえられた聴衆です。彼のビジネスパートナーも待たなければなりません。

イエスは教えを終えて、今度はこれらの漁師たちに直接注意を向けます。そしてここで私たちはもう一つの奇跡を目撃します。

“話がすむと、シモンに「沖へこぎ出し、網をおろして漁をしてみなさい」と言われた。”

ルカによる福音書 5:4 口語訳

“シモンは答えて言った、「先生、わたしたちは夜通し働きましたが、何も取れませんでした。しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましよう。」”

ルカによる福音書 5:5 口語訳

ここで大きなため息が出るのを想像します。ラビがこのプロの漁師に魚の捕まえ方を教えています。サイモンの反応は笑ってしまいます。

魚を捕まえたのは夜でした。夕方になって気温が下がってくると、魚は水面に上がってきました。できるだけ多くの魚をすくうために、2隻のボートに接続されたタイプの網(引き網)がよく使用されます。これは大変な肉体労働です。機械的なクランクやモーターはなく、それらだけが存在します。そして彼らはこれを一晩中続けましたが、何も捕まりませんでした。

日中は誰も釣りをしませんでした。時間の無駄でした。

また、網も洗って乾かし、帰る準備をしました。覚えて？時間のかかった作業です。網の管理を怠ると、ビジネスに支障をきたす可能性があります。おそらく彼らには、さらに網を購入する資本がなかったのでしょう。つまり、彼らは再び網を掃除しなければならないことを意味します(覚えておいてください...その日はもう終わりました。イエスの要求はとても不便です)。

このラビは自分を誰だと思っていますか？シモン・ペテロはこのことをすべて知っています。それでも彼はそれをやりますか？なぜ？奇跡の前にもう一つの奇跡が起きます。ここではさらに深いことが起こっています。シモンの中に信仰が湧き上がってきます。

信仰 = 信頼

彼の状況、知識、専門知識、理性、経験、さらには彼のコミュニティとその集合知さえも、これがとんでもない要求であることを示しています。それでも、彼の心の中の何かイエスを信頼するように引き寄せられています。

信仰はこの物語の最初の奇跡です

それは見落とされがちですが、非常に重要です。予想に反して、彼はイエスに従うように惹かれます。まるで彼の心の周りにある目に見えない糸が彼をイエスに向かって引っ張っているようです。

また、もしペテロがイエスへの信頼を邪魔する可能性のある反対を許してしまっていたら、ペテロはどんなに素晴らしい人生の冒険を逃すことになっただろうと思わずにはられません。

もし彼の物語がここで終わっていたらどうなるのでしょうか？もし彼がイエスを読んだら暴動が起きるだろうか？もし彼が、頭がおかしくなってランチに出かけていると言ったら？彼が神から軽蔑されたことのリストを持ち出したとしたら（...私がこんなに一生懸命働いたのに何も成果がなかったことを今見たでしょうか?!? その時、あなたはどこにいたのですか、神様?!?)

私たちの中にはすぐに諦めてしまう人もいます。突破口の直前にタオルを投入します。私たちは、認識された、または実際の失敗、落胆、痛みによって信頼が損なわれることを許します。強化しないとね。

もう少し我慢したらどうなるか興味ありませんか？もう少しだけ信じていたら？ピーターは好奇心を持っていたと思います。信仰と好奇心が入り混じった気持ちで、ペテロはイエスの言われたことを実行します。

“そしてそのとおりにしたところ、おびただしい魚の群れがはいって、網が破れそうになった。そこで、もう一そうの舟にいた仲間、加勢に来るよう合図をしたので、彼らがきて魚を両方の舟いっぱいに入れた。そのために、舟が沈みそうになった。”

ルカによる福音書 5:6-7 口語訳

奇跡その2: 魚。たくさん魚。

これはガリラヤ湖のマグダラ近くで見つかった1世紀の漁船の一部の写真です。1986年の干ばつの最中に、ユヴァル・ルーファンという男性と彼の兄弟によって発見されました。

ユヴァルさんはこの船が人生を変えたと言った。彼はこの船を見つけたときは神を信じていませんでしたが、何らかの理由でこの船が彼のすべてを変えました。それがこれらの物語に命を吹き込み、今では彼は信者になっています。

それは泥の中に埋もれており、干ばつによってのみ露出することができました。

干ばつから良いことが起こることもあります。

魚のいない夜の反対側で、ピーターの網が壊れ始めます。

長く暑くて乾季が終わった後...ユヴァルは人生を変える古代の船を見つけます。

1世紀にこの船を失った人は、おそらくこの船をあまりうれしく思っていなかったでしょう。しかし、1900年以上後の生活がどのように変

わかるかを知ることができたら、彼らの見方は変わるだろうかと思います!

信仰の奇跡が私たちが魚の奇跡に近づけますように。

それはどういう意味ですか?これは...イエスが私たちの必要をすべて満たしてくださると信頼できますように!

この古代の船を発見する利点の1つは、この魚の漁獲量がどれほど多かったのかを理解し始めることができることです。ご覧の写真は古代漁船のわずか1/3程度です。船の大きさ、重量分布、その地域の魚の価値に関する古代の記録を考慮した研究論文をすべて読みましたが、魚の漁獲量は控えめに見積もっても、これらの漁師一人当たりの賃金は12～36年分に相当します(魚の品質、種類、大きさによって異なります)。

これらの漁師たちは、現在のニーズを満たすものを探していました。彼らもそのために本当に一生懸命働きました。イエスはもっと大きなことを念頭に置いています。

節 8...

“これを見てシモン・ペテロは、イエスのひざもとにひれ伏して言った、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です」。彼も一緒にいた者たちもみな、取れた魚がおびただしいのに驚いたからである。シモンの仲間であったゼベダイの子ヤコブとヨハネも、同様であった。すると、イエスがシモンに言われた、「恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ。」”

ルカによる福音書 5:8-10 口語訳

“そこで彼らは舟を陸に引き上げ、いっさいを捨ててイエスに従った。”

ルカによる福音書 5:11 口語訳

これらの人々(とその家族)に対する神の備えは、彼らの目的に関連しています。神は彼らを、これまで知っていたものから引き離し、まったく新しい生き方に導こうとしています。

神は彼らに、自分の世話をしてくれると信頼できることを示しているのです。この状況全体がピーターにとっては圧倒的です。

ピーターはすぐに、自分が普通のラビの仲間ではないことに気づきました。彼の反応は、人々が神の臨在に気づいたときのOTの物語を思い出させるはずです。彼らはすぐに彼の神聖さと自分たちの罪深さに気づくでしょう。彼らは、神がどのような方であるかを照らし合わせて自分自身を見つめるので、ほとんどの場合、恐怖でいっぱいになります。圧倒された神は、彼らの魂を復活させ、神の愛のゆえに神の御前では安全であることを彼らに思い出させる必要があるでしょう。

ピーターは元に戻りました。

そして、YHWH ご自身との出会いのこのパターン OT パターンに従って、イエスは「恐れる必要はありません」と言われます。イエスはピーター(とその仲間たち)に対して、彼らが自分の人生のために持っていたものはるかに超える目的を持っています。

神は彼らに対する愛と気遣い、そして力を示しています。神には彼らに目的があり、彼らがまさにその目的に踏み出すときに世話をする力があります。

移行期: さて、イエスは私たちのことをよく知っています。これは人生を変えるようなクレイジーな物語です。しかし、同時に多くの疑問も生じます。この話の真実をどのように受け止めて毎日に適用すればよいのでしょうか?このような経験を常に期待すべきでしょうか?人生は、これがユニークであることを私に示しています。イエスは彼らに自分の力を示すだけでなく、神の備えに対する信仰生活がどのようなものかを教えます。ルカ 12 章まで早送りしてください。

MVMT 2: 寛大さ, 不安, バードウオッチング (ルカによる福音書 12:22-34)

困難な時期にあると、私たちは健忘症になることがよくあります。私たちは忘れてしまいます。忘れたときに戻ってくるために、私たちは真実を覚えておく必要があります。

ルカ 5 章から 12 章までの間には、ある程度の時間が経過しました。彼らが経験したような経験の後では、おそらく、それほど困難な、あるいは試練の時が来るとは思わないだろうと想像します。イエスが指を鳴らして私たちの残りの人生を養ってくれるなら、それは順風満帆になるでしょう。

そしてそうではありませんでした。実際、彼らが直面しているプレッシャーに対する恐怖と不安が圧倒的になった瞬間がありました。状況が非常に困難に感じられるとき、どうすれば神の備えへの信仰を持ち続けることができるのでしょうか。

質問してよかったです!

“イエスは彼らの論議を見ぬいて、「あなたがたは心の中で何を論じているのか。あなたの罪はゆるされたと言うのと、起きて歩けと言うのと、どちらがたやすいか。しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威を持っていることが、あなたがたにわかるために」と彼らに対して言い、中風の者にむかって、「あなたに命じる。起きよ、床を取り上げて家に帰れ」と言われた。”

ルカによる福音書 5:22-24 口語訳

“すると病人は即座にみんなの前で起き上がり、寝ていた床を取りあげて、神をあがめながら家に帰って行った。みんなの者は驚嘆してしまった。そして神をあがめ、おそれに満たされて、「きょうは驚くべきことを見た」と言った。”

ルカによる福音書 5:25-26 口語訳

“そののち、イエスが出て行かれると、レビという名の取税人が収税所にすわっているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言われた。”

すると、彼はいっさいを捨てて立ちあがり、イエスに従ってきた。それから、レビは自分の家で、イエスのために盛大な宴会を催したが、取税人やそのほか大ぜいの人々が、共に食卓に着いていた。ところが、パリサイ人やその律法学者たちが、イエスの弟子たちに対してつぶやいて言った、「どうしてあなたがたは、取税人や罪人などと飲食を共にするのか」。イエスは答えて言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。」

ルカによる福音書 5:27-31 口語訳

“わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである」。また彼らはイエスに言った、「ヨハネの弟子たちは、しばしば断食をし、また祈をしており、パリサイ人の弟子たちもそうしているのに、あなたの弟子たちは食べたり飲んだりしています」。するとイエスは言われた、「あなたがたは、花婿と一緒にいるのに、婚礼の客に断食をさせることができるであろうか。」

ルカによる福音書 5:32-34 口語訳

これらの考えを一つに結びつけるのは、まさにイエスのようでしょう。

人生の不安、貧しい人々への寛大さ、そしてバードウォッチング。

私たちが不安やメンタルヘルスについて話すときは、イエスが反博士ではないことに留意することが重要です。彼は反医学者ではありません(福音書の著者の一人は医師でした!)。彼はアンチセラピストでもありません。

しかし、彼らが当時共有していた同じ課題を今日私たちが共有していないなどと考えるのは単純です。そして、私たちが知っていることは、私たち自身の魂の中に、不安などの問題に対処するときに注意しなければならない別の深い領域もあることです。ここには複雑さとニュアンスがあります。

イエスはあなたが心配していることに対する解毒剤を与えてくださいます。

神があなたを養ってくれないのではないかと心配ですか？

イエスの最初の指示は、野鳥観察者になることです。

野生。(文字通り。ダジャレのつもりです)

イエスは連絡が取れていないのでしょうか？いいえ、彼があなたに勧めているのは、視点を得るということです。

ヘブライ語の世界観について話したときのことを覚えていますか？それはほとんどのものとはまったく対照的です。

人類の歴史におけるほとんどすべての戦争は、資源をめぐる始まりました。土地、人、物。国民の支持を得るために、ある種の大義名分で戦争を偽装するのは簡単だが、金に従えばその意図は見え見えだ。

これは私たちについて何を物語っているのでしょうか?これは欠乏性の考え方です。

私たちの宇宙観は希少なものであり、資源には限りがあり、パイの一部を得るために戦わなければなりません。周りに回るには十分ではないので、私たちのものを得るために、他の口を排除して餌を与える必要があります。人生はゼロサムゲームです。どんな犠牲を払ってでも、自分のものを手に入れて、それを握り続けてください。

そしてこれは真実でしょう...どこからともなく奇跡的な魚の捕獲を生み出すことができる善良な神がいなかったら。獲れたての魚の口にくわえたコインで税金の残高を支払える神がいなかったら。あるいは、一人の男の子のお弁当で何千人もの人々に食事を与えることができる神がいなかったら。

私たちは聖具ではなく、豊かさの神に仕えています。

イエスは、外に出て鳥を見なさいと言われます。神がどのように彼らを養ってくださるか見てみましょう。世界は彼らに有利に操作されています。彼らがそのために働く必要がなくても、それは彼らを養ってくれます。それから彼は草を見てくださいと言います。それは、イスラエル史上最も裕福で最も強力な王ですら真似できない素晴らしさと美しさを身にまとっています。

あなたは自分の人生における神の備えについて心配し、心配していますか?

- 私の言葉を聞くだけでは十分ではありません。それを試してみてください。外に出て見てください。あなたの視点を再構築しましょう。
- あなたが導き出される結論は、神は寛大な神であるということです。
- 神は私たちに必要なものを提供する世界を創造されました。豊かに満ちた世界。

しかし、そうでないときはどうなるのでしょうか?

これは、イエスのこの教えに対する現代の異議の1つです。それは、私たちが「これは真実ではない」と思うことを考え出し、それを異議として提起することです。

ここで、世界の人口のほとんどが1日1ドル未満で生活していることを思い出していただきたいと思います。消費主義は文化的に、私たちがもっと、もっと、もっとと望むようになるのです。

必要以上のものを持っていても十分ではない場合があります。

さらに、希少性について私が述べたことに少し戻ってください。多くの場合、誰かが豊かさをため込み、それを惜しみなく与えているために苦労している人もいます。

だからこそ、バードウォッチングはあなたの視点を形作るだけですが、イエスは私たちに「自分の持ち物を売って、貧しい人たちに寛大になる」ことも必要だと教えています。

ここに熟考する価値のある質問があります...

「あなたの豊かさをどうしますか？」

でもアレックス、私にはお金がありません！ かろうじて十分です。

- それが私たちが乗り越えなければならない最初のハードルです。
- 私たちは何も欠けていない神に仕えています。
- 彼はあなたと私が自分が乗り越えられると信じられることを求めています。
- 世界はこの良いニュースを切実に必要としています。そしてイエスは、あなたの信仰生活が多くの人にとって信仰の手段となると信じておられます。
- あなたの人生は宣言することができます - 彼は提供してくれるでしょう(たとえそれが朝であっても、すべての証拠が反対を示している長い実りのない夜の後...彼は提供してくれるでしょう)。
- ピーターはテーブルに何を持ってきましたか？ 彼がすでに持っていたもの、それはボートと網だった。そしてイエスはさらに多くのものを作りました。
- 5,000人に食事を与えたお子様ランチはどうなるのでしょうか？ 彼はただ自分が持っているものを捧げ、イエスがそれをさらに何かにしてくれると信頼しなければなりませんでした。
- 時間、宝、才能の中であなたはすでに何を持っていますか？ 彼をすべてにおいて信頼しますか？ 彼がもっと与えるべきものがあることを知っていますか？ それとも、今持っているものにしがみつき、二度目の奇跡を経験することはできないでしょうか？

そこでもう一度お聞きします...

「あなたの豊かさをどうしますか？」

- それを買いだめしますか(十分ではないのではないかと心配します)、それとも共有しますか？
- 神はその豊かさをどうするのでしょうか？ 彼はそれを共有します。
- イエスは彼のものをどうしますか？ 彼はそれを弟子たちに伝えます。

そしてこれは、この一節に対する過激な反応に道を譲りません。

「恐れることはありません;これからあなたは人を漁ることになります。」

「持っているものを売って貧しい人たちに施しなさい」

「決して磨耗しない財布、決して壊れない通貨、そして紛失したり盗まれたりしない永遠に続く宝物を自分で作りましょう。」

言い換えれば、「魚を覚えてください + イエスに従い、荒野へ行きなさい」ということです。(スィーッディッシュ・フィッシュに叫ぶ。)

答え: 魚のことを思い出してください + イエスに従って野生へ行きましょう

[福音の応答: 創世記の物語 - 「主の山で、主は私たちの罪のための犠牲を備えてくださいます。」神の備えは、史上最大の備えであるイエスを指し示しています。最大の贈り物は罪の赦しと神の和解です。そして史上最大の奇跡、それは復活です。最終的に、神は私たちが想像したり想像したりしたものを超えて、私たちが自分で認識できたけれども神がなければ死んでいたであろう必要を超えて、私たちに備えてくださいました。そして彼はこの贈り物を私たちに提供し(ピーターにしたように)、私たちを信頼と冒険の人生に招待し、彼に従って野生に出かけます。]

最後は「Remember the Fish」と「Ready, Set Move!」という曲で終わります。

祝祷

